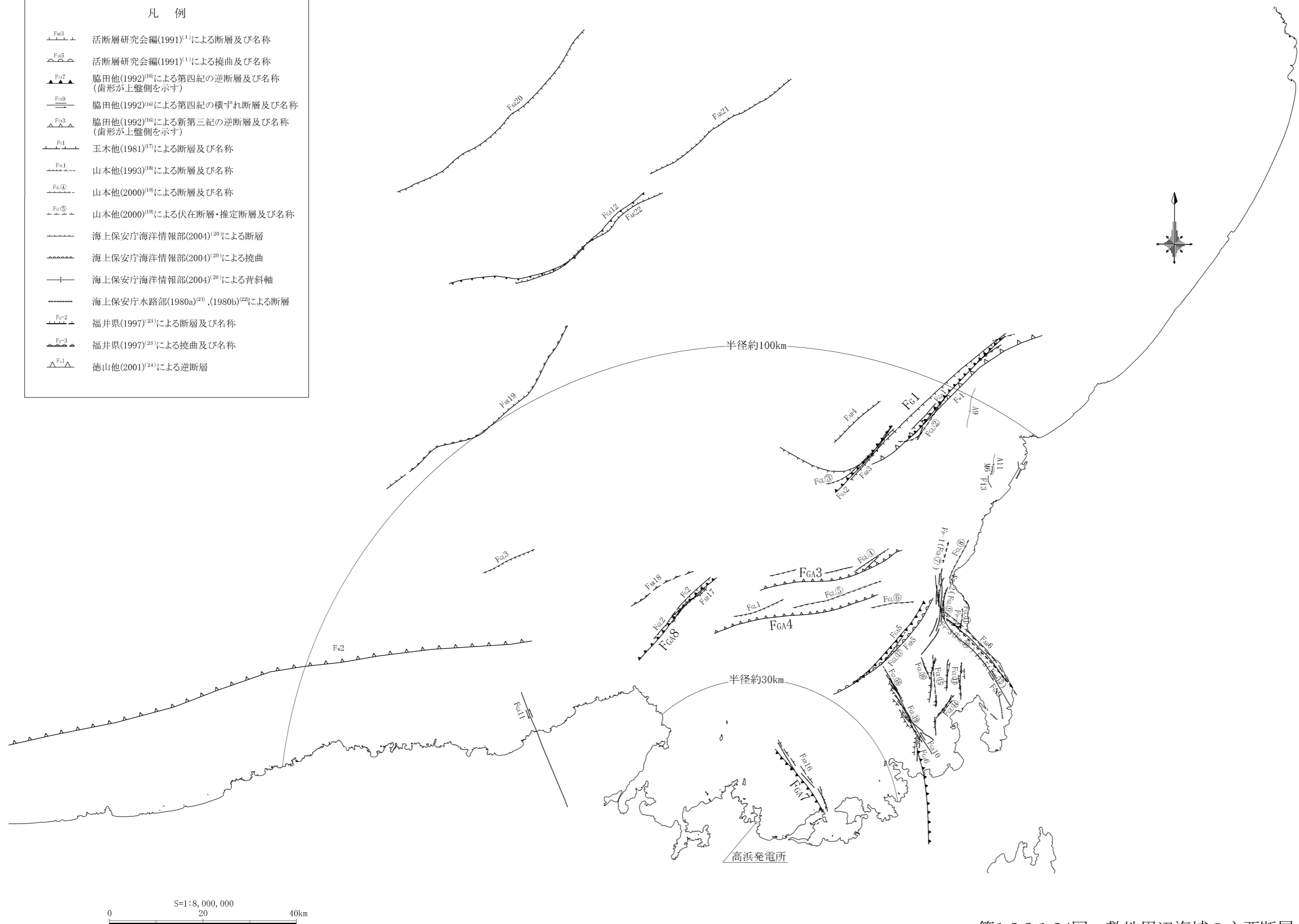


凡 例

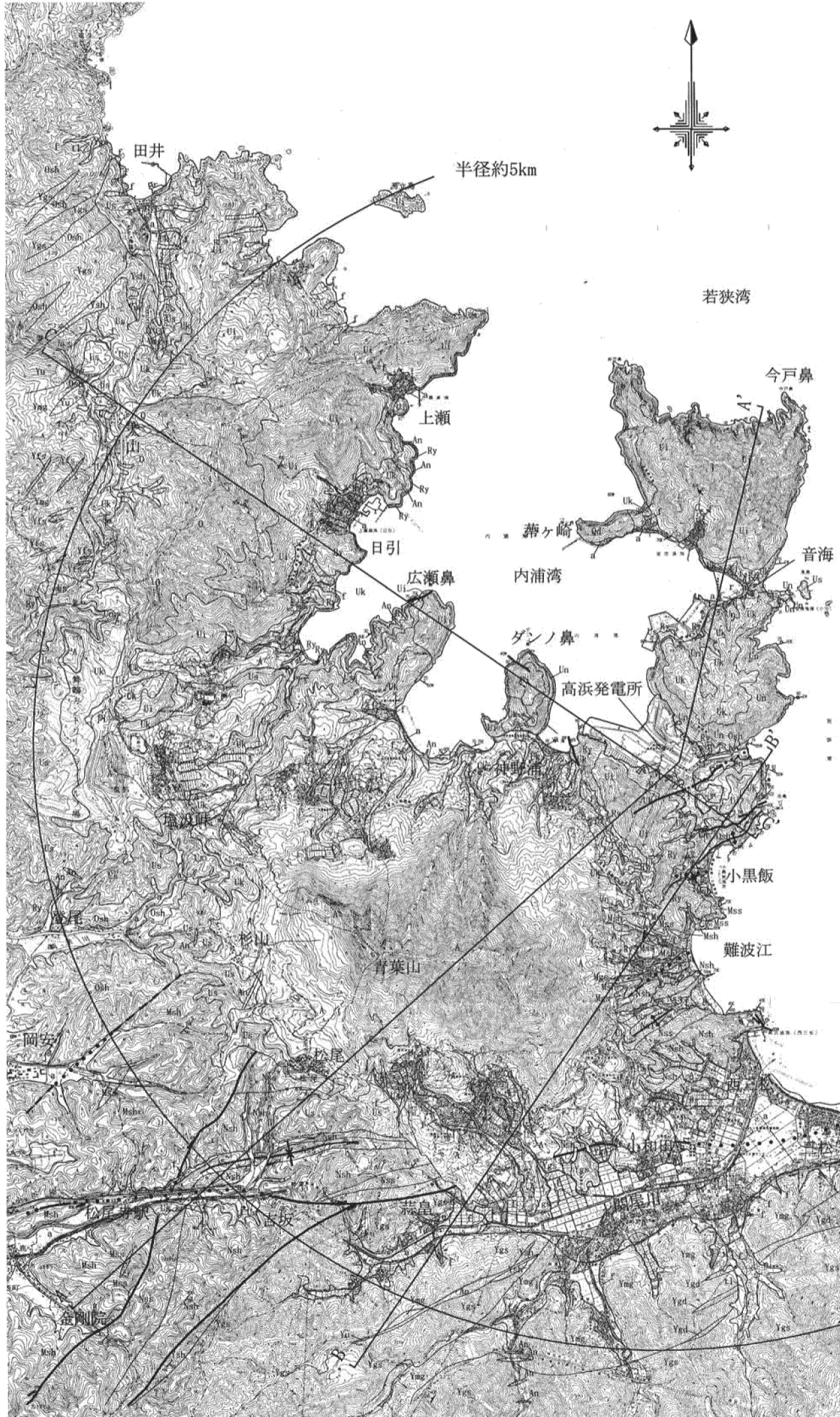
- 活断層研究会編(1991)<sup>(1)</sup>による断層及び名称
- 活断層研究会編(1991)<sup>(1)</sup>による撓曲及び名称
- 脇田他(1992)<sup>(16)</sup>による第四紀の逆断層及び名称  
(歯形が上盤側を示す)
- 脇田他(1992)<sup>(16)</sup>による第四紀の横ずれ断層及び名称
- 脇田他(1992)<sup>(16)</sup>による新第三紀の逆断層及び名称  
(歯形が上盤側を示す)
- 玉木他(1981)<sup>(17)</sup>による断層及び名称
- 山本他(1993)<sup>(18)</sup>による断層及び名称
- 山本他(2000)<sup>(19)</sup>による断層及び名称
- 山本他(2000)<sup>(19)</sup>による伏在断層・推定断層及び名称
- 海上保安庁海洋情報部(2004)<sup>(20)</sup>による断層
- 海上保安庁海洋情報部(2004)<sup>(20)</sup>による撓曲
- 海上保安庁海洋情報部(2004)<sup>(20)</sup>による背斜軸
- 海上保安庁水路部(1980a)<sup>(21)</sup>、(1980b)<sup>(22)</sup>による断層
- 福井県(1997)<sup>(23)</sup>による断層及び名称
- 福井県(1997)<sup>(23)</sup>による撓曲及び名称
- 徳山他(2001)<sup>(24)</sup>による逆断層



第1.2.3.1.24図 敷地周辺海域の主要断層分布図  
1.2.3・86

凡例

	地質境界線
	断層
	伏在断層
	推定断層
	地質体・コンプレックスの境界
	アンチフォーム
	シンフォーム
	層理面の走向傾斜(偏角未補正)
	面構造の走向傾斜(偏角未補正)
	割れ目の走向傾斜(偏角未補正)
	断層面の走向傾斜(偏角未補正)
	地質断面線



地質凡例

地質時代	記号	地層名等	主要構成地層	
新生代	第四紀	r	人工改变地	
		a	沖積層	礫, 砂, シルト, 粘土
		f	新期扇状地堆積物	礫, 砂, シルト
		t1	低位段丘堆積物	礫, 砂, シルト
新生代	新第三紀	A	青葉山安山岩類	安山岩, 凝灰角礫岩
		O	大山安山岩	安山岩, 凝灰角礫岩
		Qd	石英閃緑岩	石英閃緑岩
		Ui	今戸鼻層	安山岩, 凝灰角礫岩
		Uk	神野浦頁岩部層	泥岩
		Us Un	塩浜沖積岩・砂岩部層 名島火山岩部層	礫岩, 砂岩 凝灰角礫岩, 安山岩
中生代	白亜紀	Ry	音海流紋岩	流紋岩, 流紋岩質凝灰岩
	三疊紀	Nss		砂岩
		Nsh	難波江層群	頁岩
		Nal		砂岩頁岩互層
古生代	ペルム紀	JTsh	大飯層(UT2コンプレックス)	頁岩
		Mss		砂岩
		Msh	舞鶴層群	頁岩
		Mgs		緑色岩類
	Osh	大浦層	頁岩	
	ペルム紀	Ysh		頁岩
		Yfs		珪長岩
		Ygd	夜久野オライト	石英閃緑岩
		Ygs		緑色岩類
		Ymg		変斑れい岩
Yu			超苦鉄質岩	
新第三紀～白亜紀後期	An	岩脈	安山岩	

「この地図の一部につき、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平27情複、第259号)」



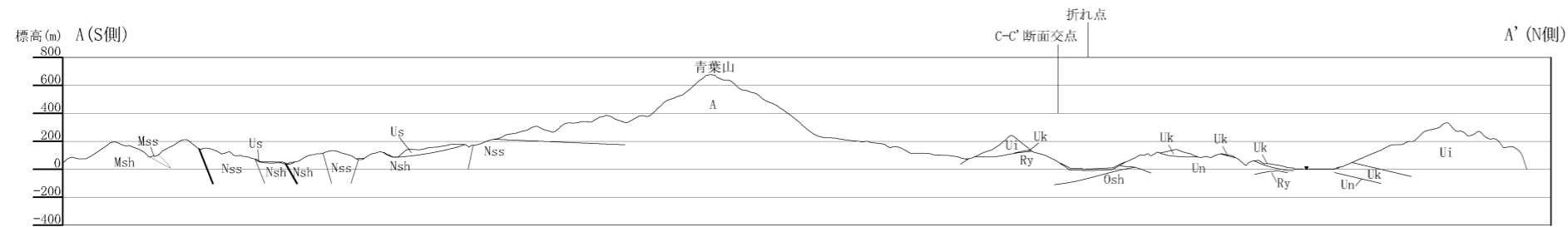
第1.2.3.2.1図 敷地近傍の地質図

地質凡例

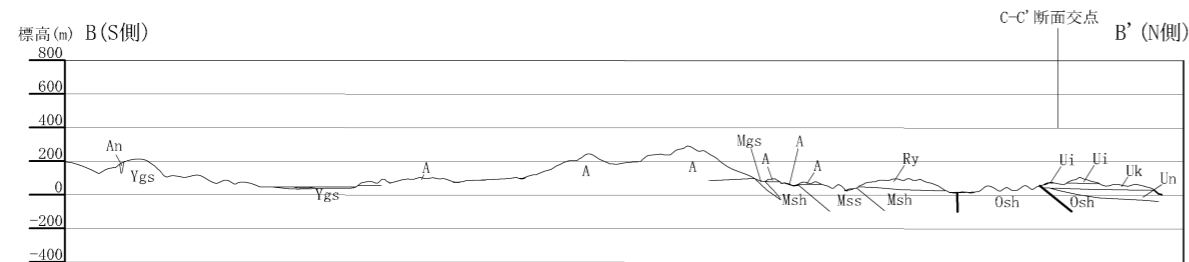
地質時代	記号	地層名等	主要構成地層	
新生代	第四紀	完新世	r 人工改変地	
		a 沖積層	礫, 砂, シルト, 粘土	
		f 新期扇状地堆積物	礫, 砂, シルト	
		更新世	t1 低位段丘堆積物	礫, 砂, シルト
	新第三紀	A 青葉山安山岩類	安山岩, 凝灰角礫岩	
		O 大山安山岩	安山岩, 凝灰角礫岩	
		Qd 石英閃緑岩	石英閃緑岩	
		Ui 今戸鼻層	安山岩, 凝灰角礫岩	
		Uk 内浦層群	神野浦頁岩部層	泥岩
		Us Un 下層	塩汲峠礫岩・砂岩部層 名島火山岩部層	礫岩, 砂岩 安山岩, 凝灰角礫岩
中生代	白亜紀	Ry 音海流紋岩	流紋岩, 流紋岩質凝灰岩	
	三畳紀	Nss	砂岩	
		Nsh	難波江層群	頁岩
		Na1	砂岩頁岩互層	
古生代	ペルム紀	JT sh 大飯層 (UT2コンプレックス)	頁岩	
		Mss	舞鶴層群	砂岩
		Msh	舞鶴層群	頁岩
		Mgs	舞鶴層群	緑色岩類
	Osh	大浦層	頁岩	
	ペルム紀	Ysh	夜久野オフィオライト	頁岩
		Yfs	夜久野オフィオライト	珪長岩
		Ygd	夜久野オフィオライト	石英閃緑岩
		Ygs	夜久野オフィオライト	緑色岩類
		Ymg	夜久野オフィオライト	変斑れい岩
Yu		夜久野オフィオライト	超苦鉄質岩	
新第三紀～白亜紀後期	An	岩脈	安山岩	

断面位置は第1.2.3.2.1図に示す。

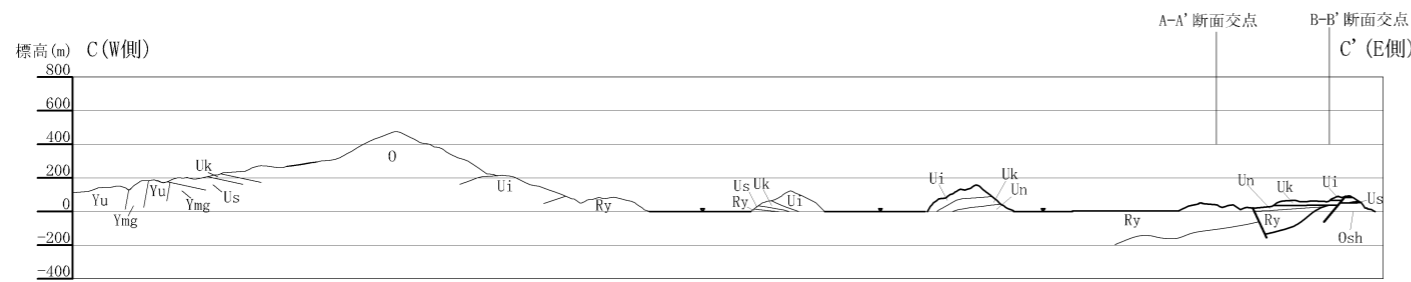
—— 地質境界  
—— 断層



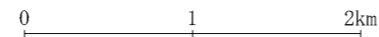
高浜 A-A' 断面



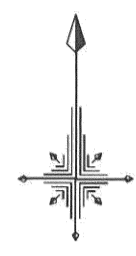
高浜 B-B' 断面



高浜 C-C' 断面



第1.2.3.2.2図 敷地近傍の地質断面図



凡例

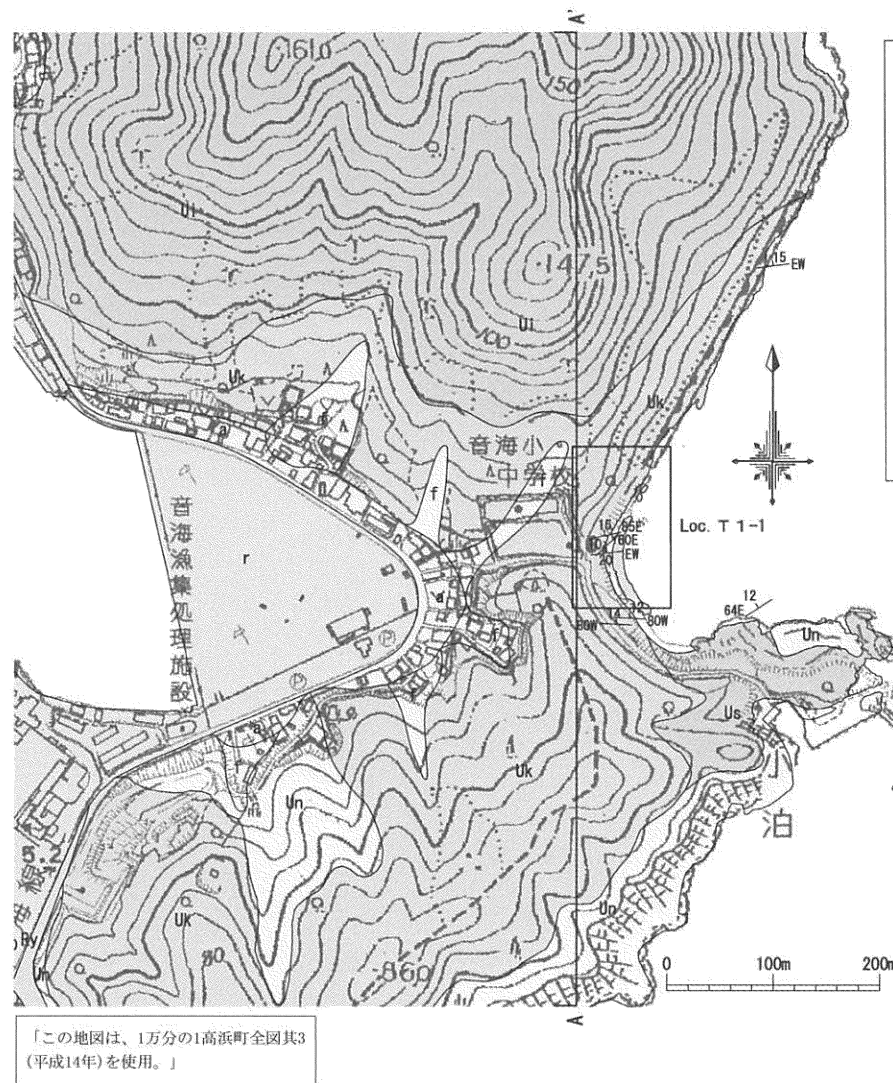
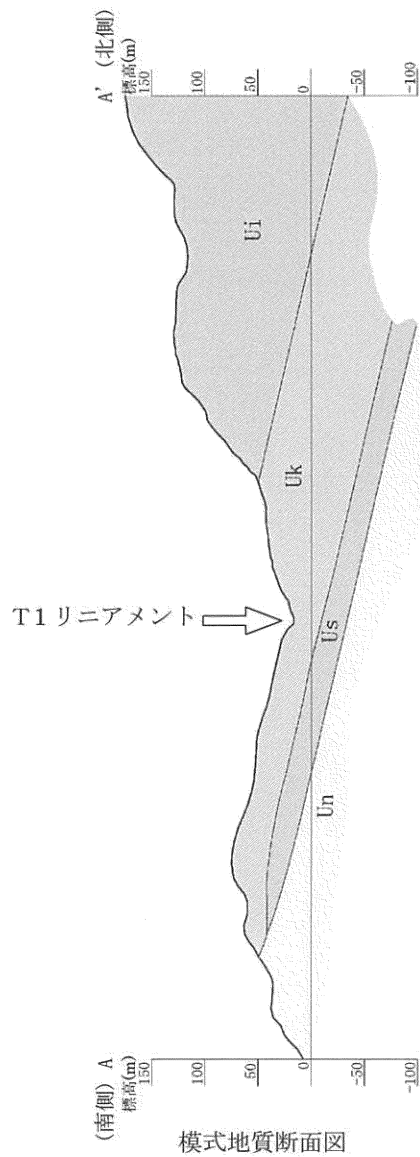
- t1 低位段丘面
  - f 新期扇状地面
  - a 沖積面
  - r 人工改変地
  - Dランクのリニアメント
- 短線は低い側を示す。短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が認められないもの。

1.2.3-89

「この地図の一部につき、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平26情複、第211号)」



第1.2.3.2.3図 敷地近傍の地形調査結果

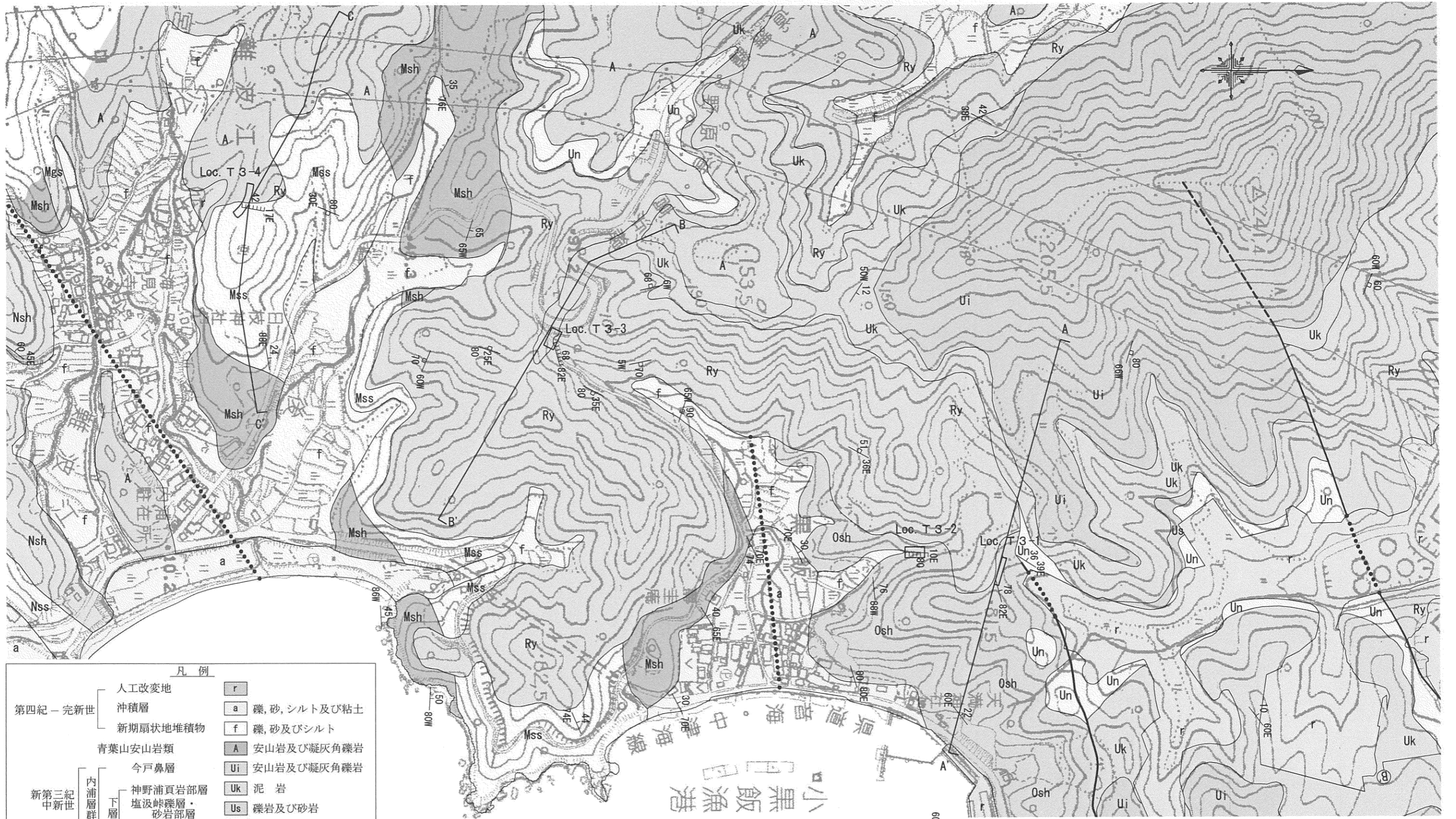


凡例

第四紀	完新世	人工改変地	r	
		沖積層	a	礫, 砂, シルト及び粘土
		新期扇状地堆積物	f	礫, 砂及びシルト
新第三紀	中新世	内浦層群	Ui	安山岩及び凝灰角礫岩
		下層	Uk	泥岩
			Uj	神野浦頁岩部層
			Us	塩汲峠礫岩・砂岩部層
			Un	名島火山岩部層
白亜紀		音海流紋岩	Ry	流紋岩及び凝灰岩

層理面の走向傾斜 (偏角未補正)  
 断層面の走向傾斜 (偏角未補正)  
 A A' 地質断面線  
 Loc 詳細調査位置

第1.2.3.2.4図 T 1 リニアメント周辺の地質図

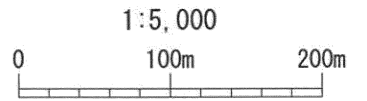


凡例

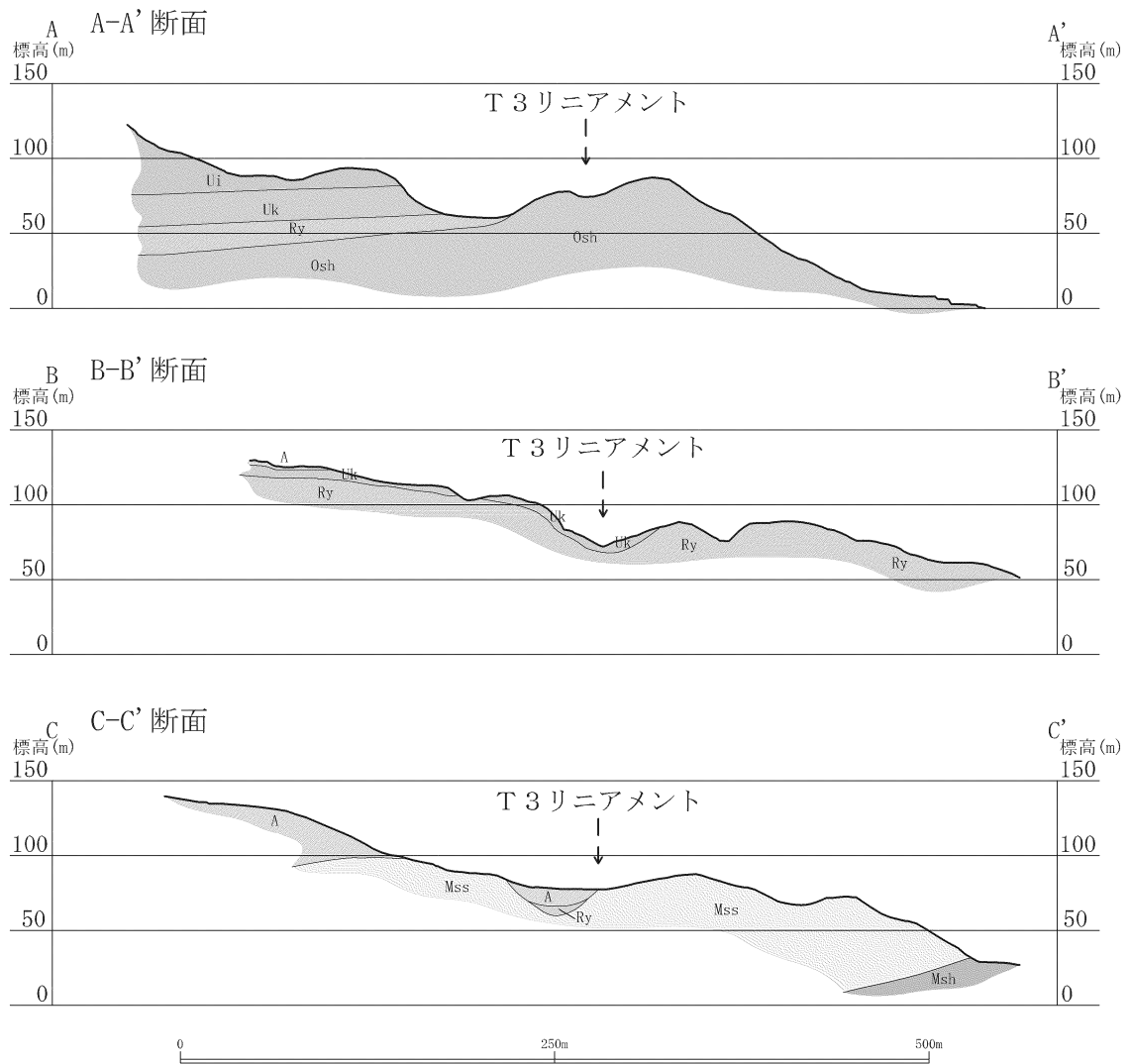
第四紀 - 完新世	人工改変地	r
	沖積層	a 礫, 砂, シルト及び粘土
	新期扇状地堆積物	f 礫, 砂及びシルト
青葉山安山岩類	今戸鼻層	A 安山岩及び凝灰角礫岩
新第三紀 中新世	内浦層群	Ui 安山岩及び凝灰角礫岩
	下層	Uk 泥岩
		Us 礫岩及び砂岩
	神野浦頁岩部層	Un 安山岩及び凝灰角礫岩
	塩汲峠礫層・砂岩部層	
	名島火山岩部層	
白亜紀	音海流紋岩	Ry 流紋岩及び凝灰岩
三疊紀	難波江層群	Nsh 頁岩
		Nss 砂岩
ペルム紀	舞鶴帯	Msh 頁岩
		Mss 砂岩
		Mgs 緑色岩類
	大浦層	Osh 頁岩

—	断層
- - -	推定断層
●●●	伏在断層
$\frac{42}{17E}$	層理面の走向傾斜(偏角未補正)
$\frac{42}{17E}$	割れ目の走向傾斜(偏角未補正)
$\frac{42}{17E}$	断層面の走向傾斜(偏角未補正)
A A'	地質断面図作成位置
Loc	詳細調査位置 (スケッチ・ルートマップ)

「この地図は、1万分の1高浜町全図其3 (平成14年)を使用。」



第1.2.3.2.5図 T3リニアメント周辺の地質図



凡 例		
A	安山岩及び凝灰角礫岩	} 青葉山安山岩類
Ui	安山岩及び凝灰角礫岩	
Uk	泥 岩	} 内浦層群
Ry	流紋岩及び凝灰岩	
Msh	頁 岩	} 舞鶴層群
Mss	砂 岩	
Osh	頁 岩	} 大浦層

断面位置は第1.2.3.2.5図に示す。

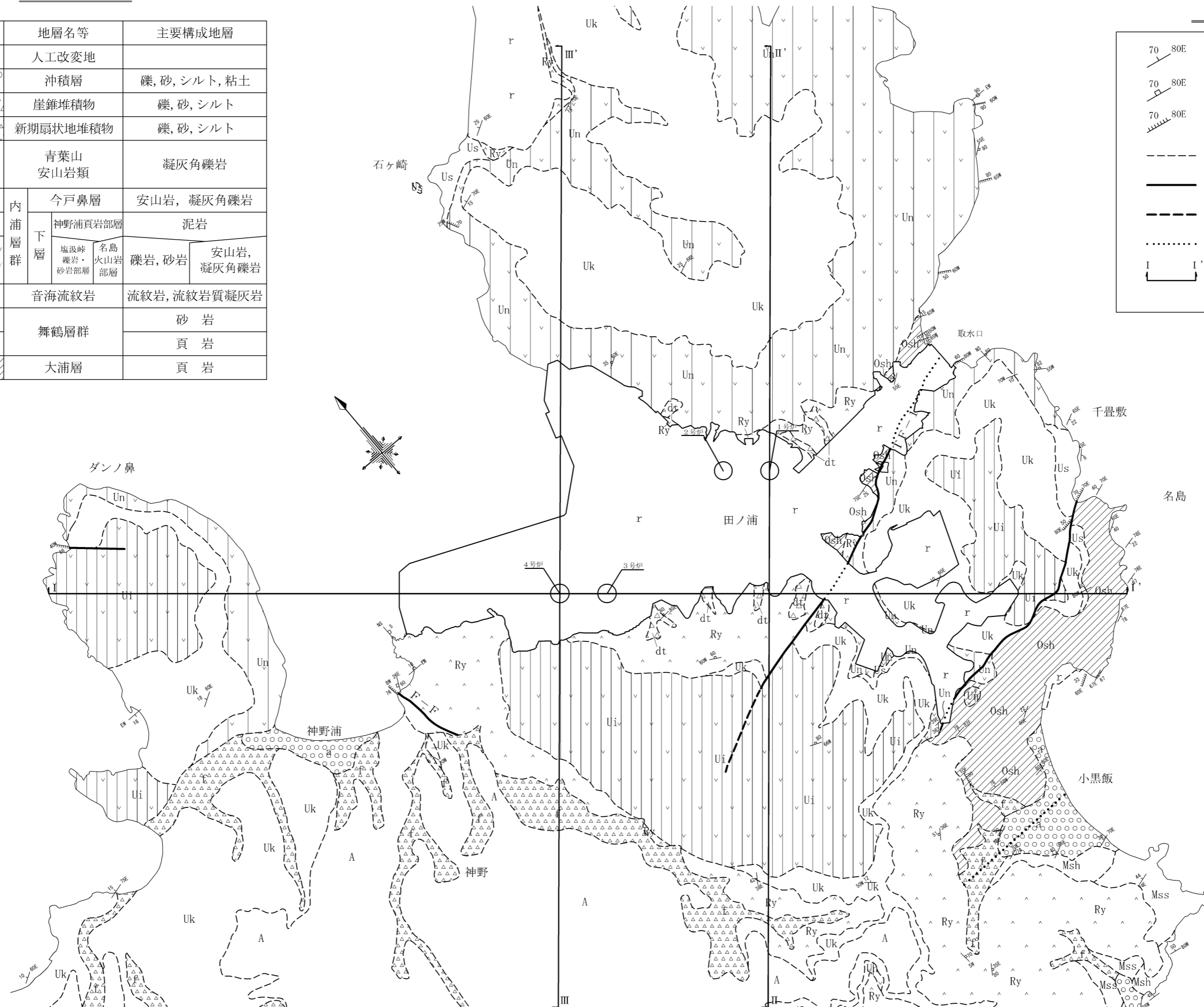
第1.2.3.2.6図 T3リニアメント周辺の地質断面図

地質凡例

地質時代		記号	地層名等	主要構成地層	
新 代	第四紀 完 新 世	r	人工改变地		
		○ a ○	沖積層	礫, 砂, シルト, 粘土	
		△ dt △	崖錐堆積物	礫, 砂, シルト	
		△△ f △△	新期扇状地堆積物	礫, 砂, シルト	
生 代	新第三紀	A	青葉山 安山岩類	凝灰角礫岩	
		↓ Ui ↓	内 浦 層 群	今戸鼻層	安山岩, 凝灰角礫岩
		Uk	下 層	神野浦頁岩部層	泥岩
		Us Un	塩波峠 礫岩・ 砂岩部層	名島 火山岩 部層	礫岩, 砂岩 安山岩, 凝灰角礫岩
中生代	白亜紀	^ Ry ^	音海流紋岩	流紋岩, 流紋岩質凝灰岩	
古 生 代	ペルム紀	Mss	舞鶴層群	砂 岩	
		Msh		頁 岩	
		Osh	大浦層	頁 岩	

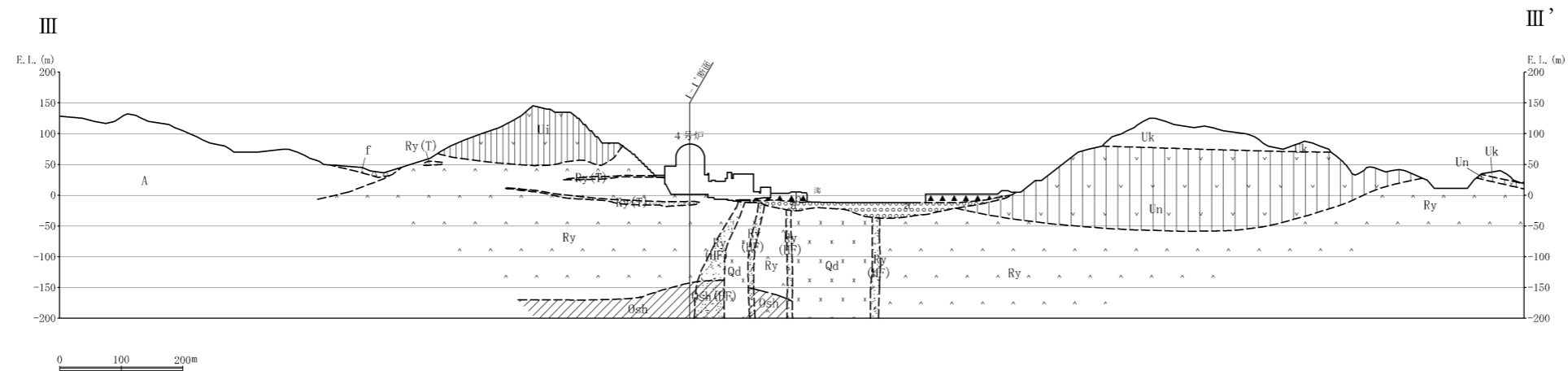
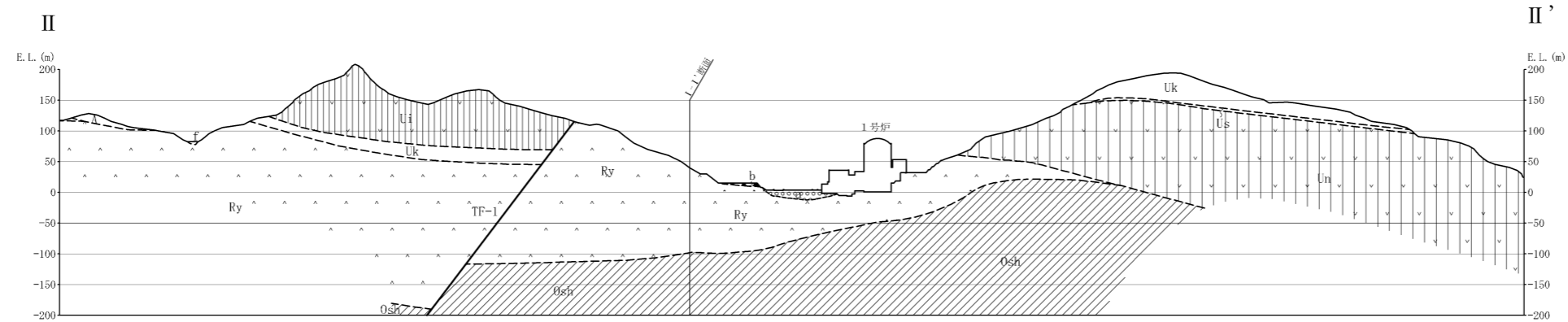
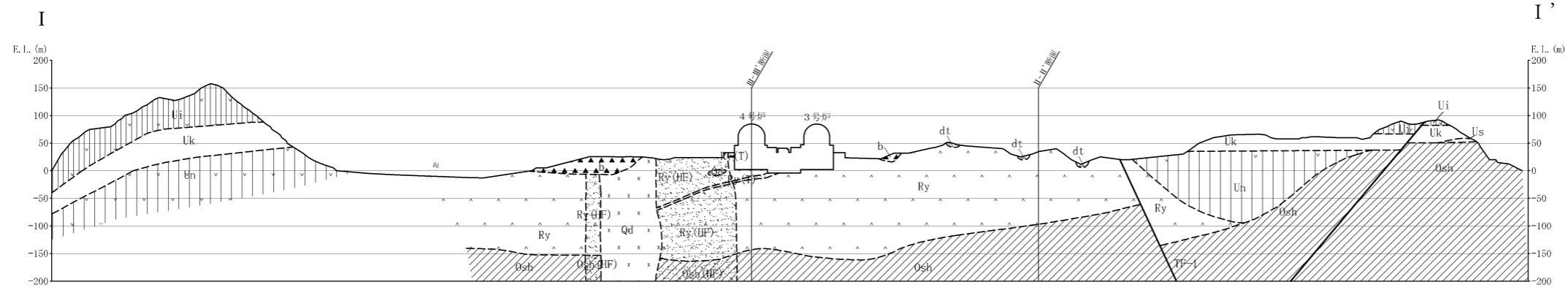
記号凡例

	層理面の走向傾斜(偏角未補正)
	割れ目の走向傾斜(偏角未補正)
	断層面の走向傾斜(偏角未補正)
	地質境界
	断層
	推定断層
	伏在断層
	断面位置



第1.2.3.3.1図 敷地の地質図

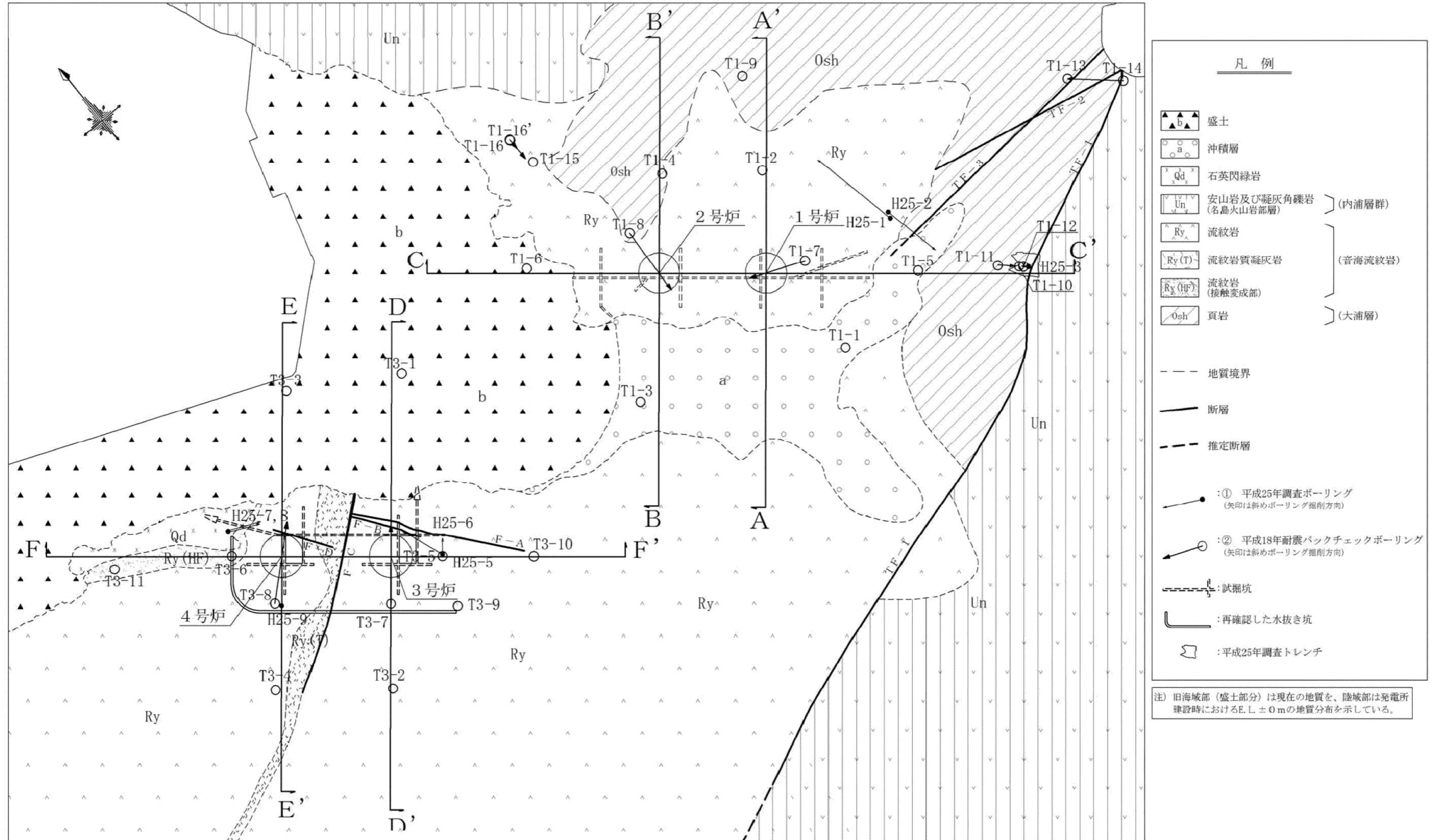




凡例	
	盛土
	沖積層
	崖錐堆積物
	新期扇状地堆積物
	青葉山安山岩類
	石英閃緑岩
	安山岩及び凝灰角礫岩 (今戸鼻層)
	泥岩 (神野浦頁岩部層)
	礫岩・砂岩 (潮波峠礫岩・砂岩部層)
	安山岩及び凝灰角礫岩 (名島火山岩部層)
	流紋岩
	流紋岩質凝灰岩
	流紋岩 (接触変成部)
	頁岩
	頁岩 (接触変成部)
	地質境界
	断層

※地質平面図で人工改変地(r)としている部分は、実際に分布する地質で表現した。  
 ※断面図作成位置は第1.2.3.3.1図に示す。

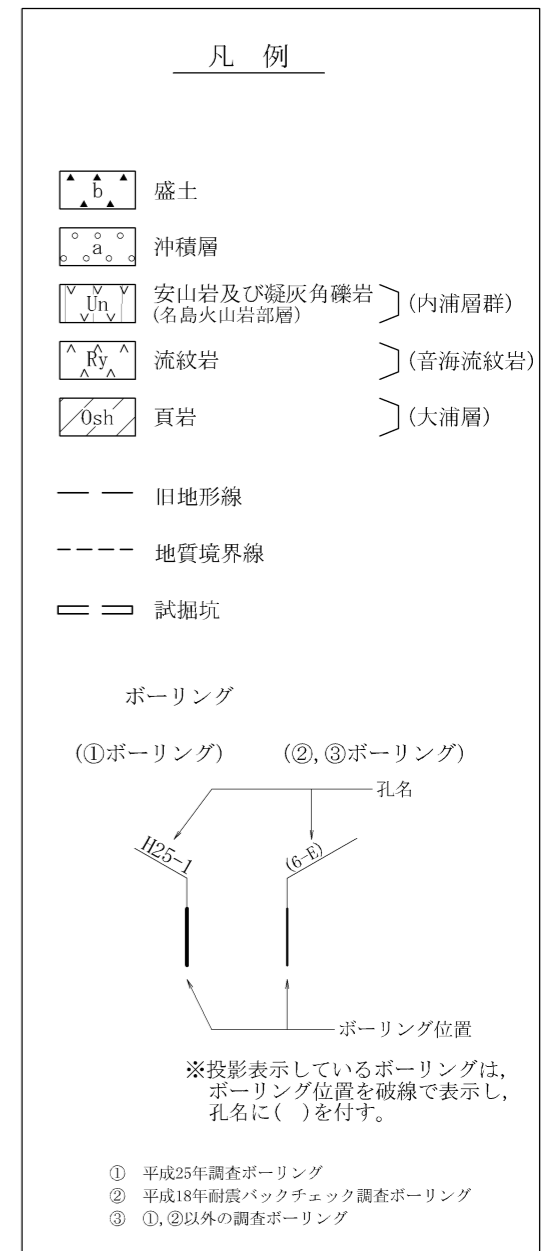
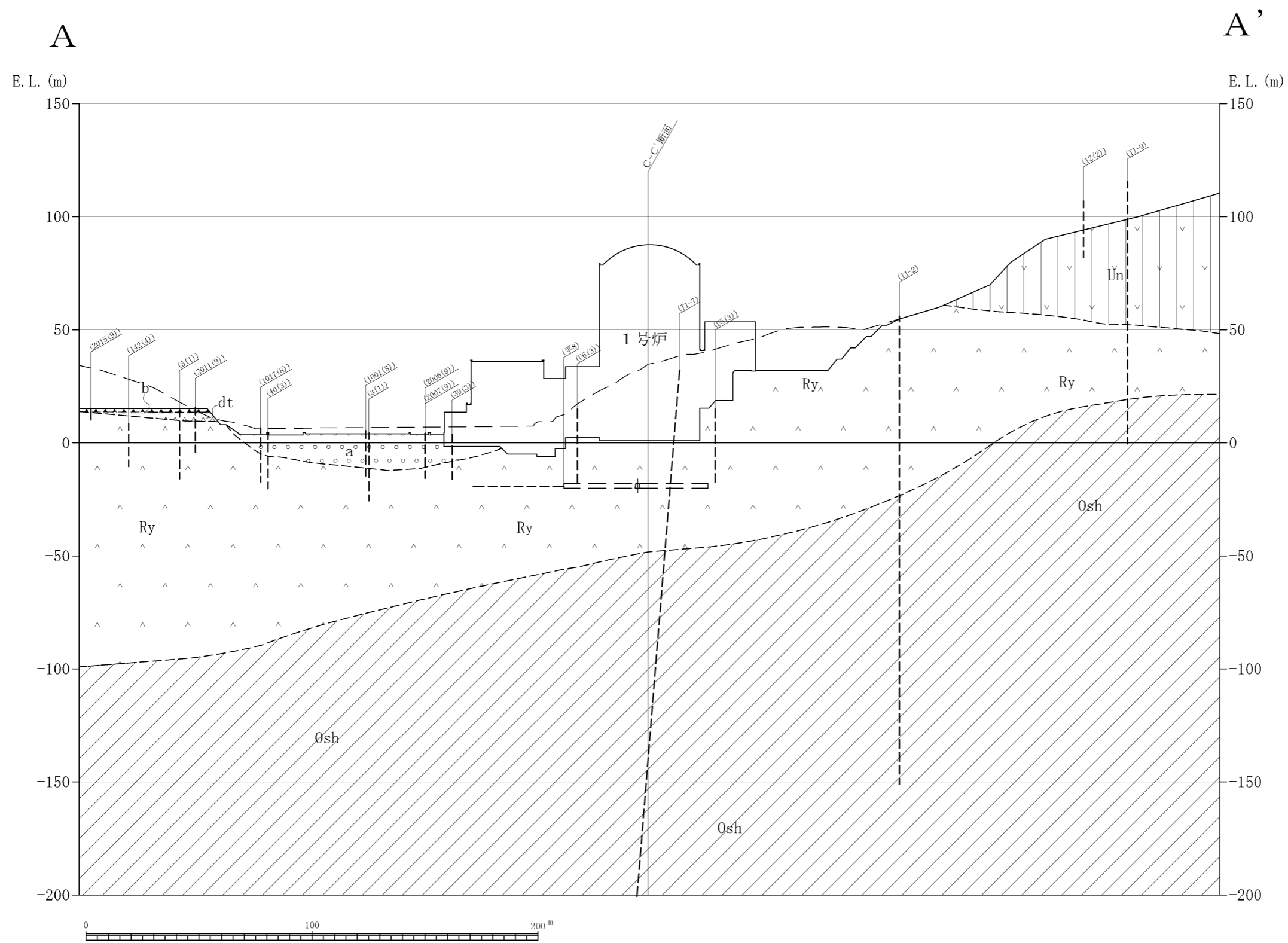
第1.2.3.3.2図 敷地の地質断面図



S=1:4,000  
 0 50 100 150 200m

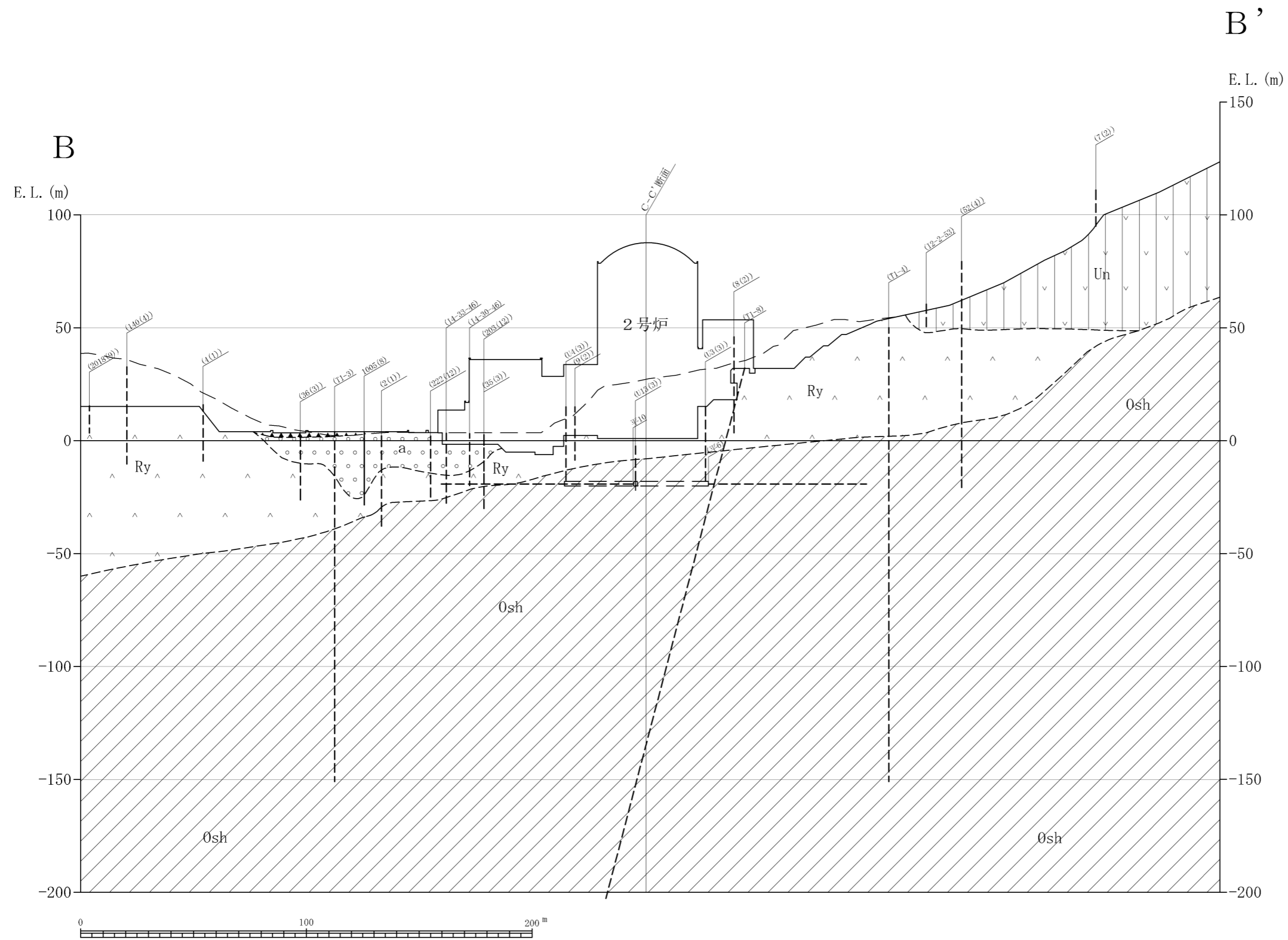
第1.2.3.3.3図 敷地の水平地質断面図 (E.L. ±0m)

注) 旧海城部 (盛土部分) は現在の地質を、陸城部は発電所建設時におけるE.L. ±0mの地質分布を示している。



※断面図作成位置は第1.2.3.3.3図に示す。

第1.2.3.3.4図(1) 地質鉛直断面図 (A-A' 断面図)



凡 例

	盛土
	沖積層
	安山岩及び凝灰角礫岩 (名島火山岩部層)
	流紋岩
	頁岩

——— 旧地形線  
 - - - 地質境界線  
 = = = 試掘坑

ボーリング

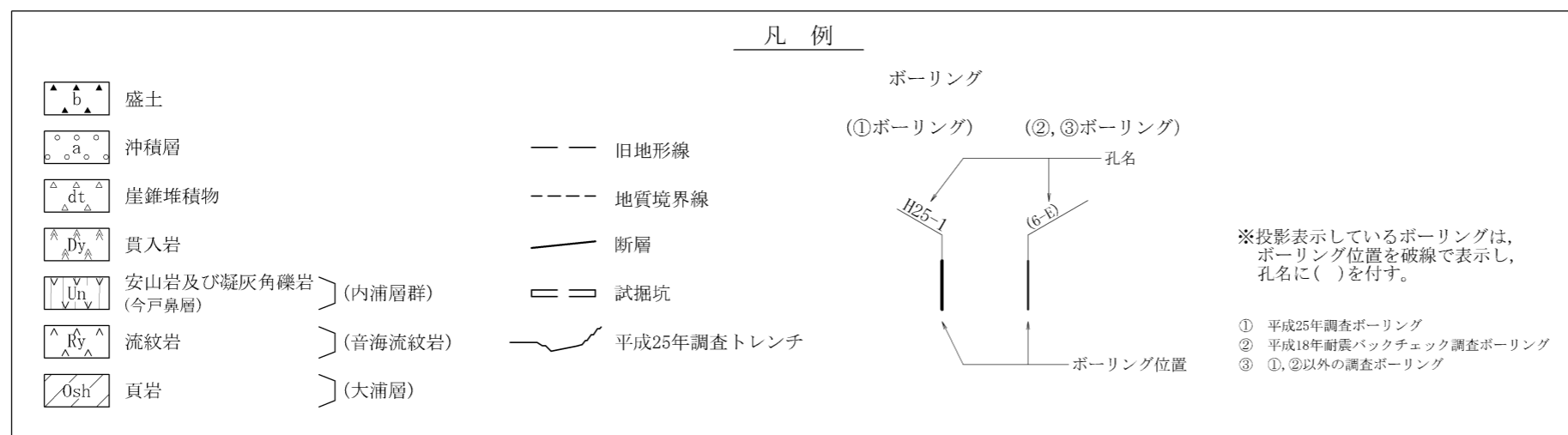
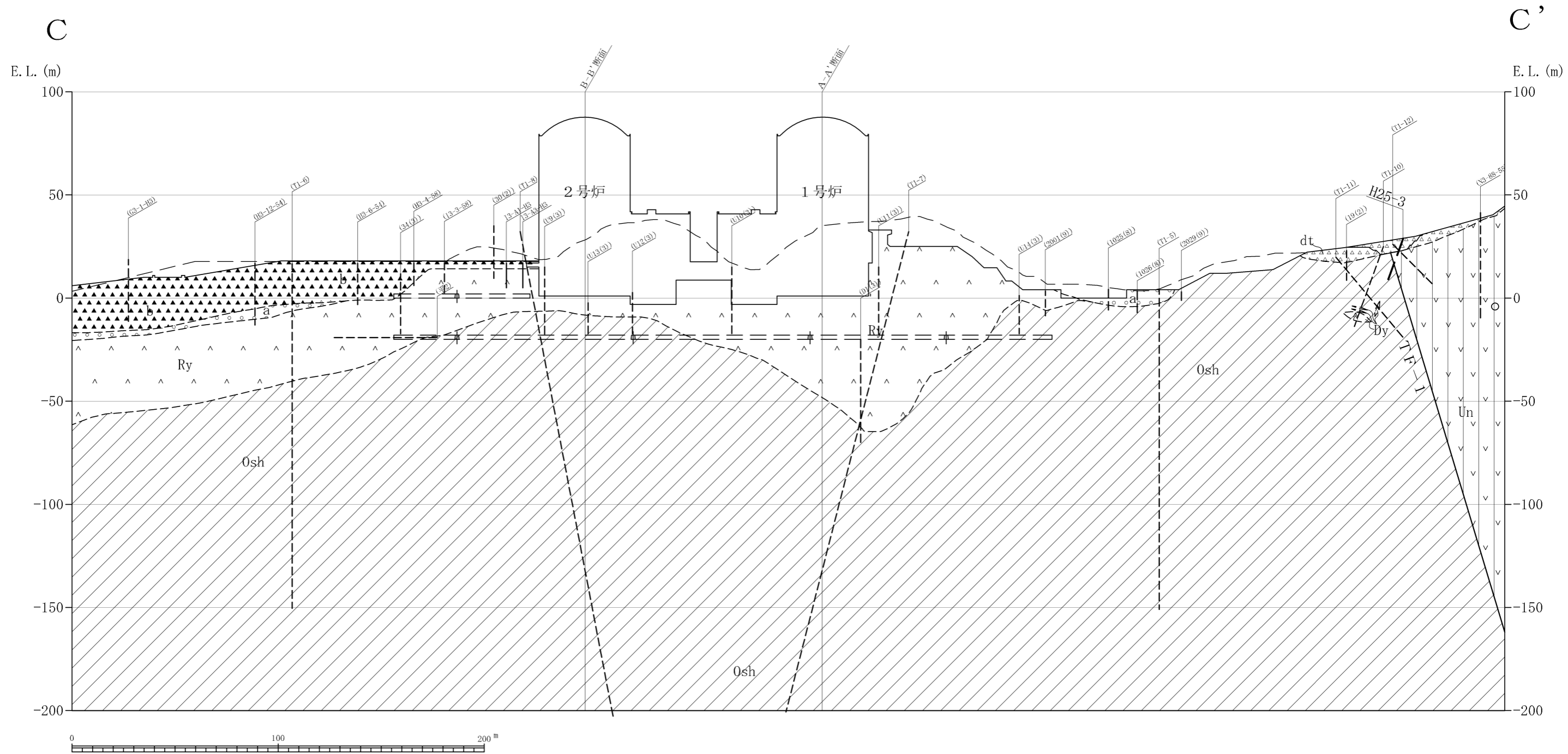
(①ボーリング)      (②, ③ボーリング)

※投影表示しているボーリングは、  
 ボーリング位置を破線で表示し、  
 孔名に( )を付す。

① 平成25年調査ボーリング  
 ② 平成18年耐震バックチェック調査ボーリング  
 ③ ①, ②以外の調査ボーリング

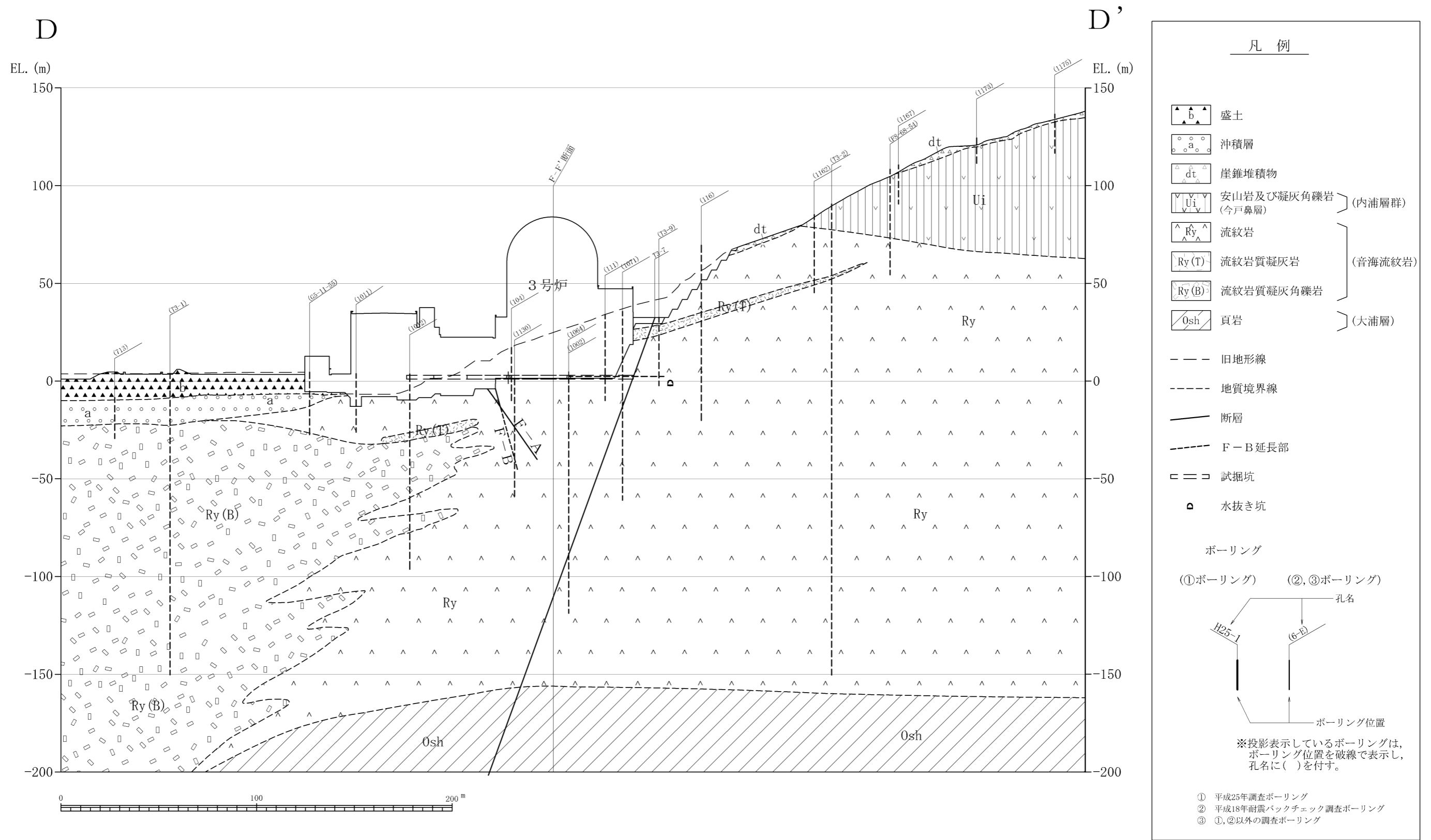
※断面図作成位置は第1.2.3.3.3図に示す。

第1.2.3.3.4図(2) 地質鉛直断面図 (B-B' 断面図)



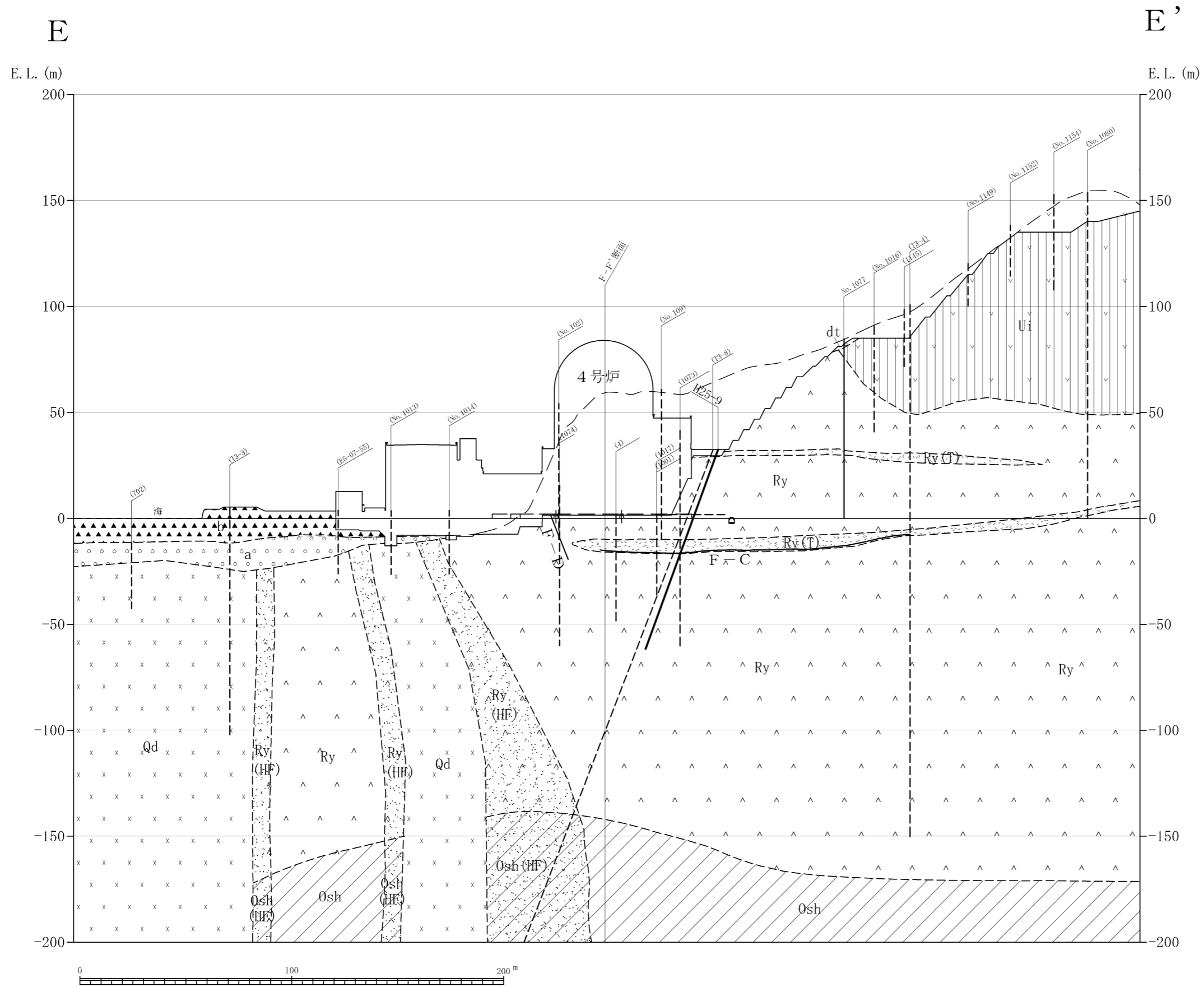
第1.2.3.3.4図(3) 地質鉛直断面図 (C-C' 断面図)

※断面図作成位置は第1.2.3.3.3図に示す。



※断面図作成位置は第1.2.3.3.3図に示す。

第1.2.3.3.4図(4) 地質鉛直断面図 (D-D' 断面図)



凡 例

	盛土	
	沖積層	
	崖錐堆積物	
	石英閃緑岩	
	安山岩及び凝灰角礫岩	(内浦層群)
	今戸鼻層	
	流紋岩	(音海流紋岩)
	流紋岩質凝灰岩	
	流紋岩 (接触変成部)	(大浦層)
	頁岩	
	頁岩 (接触変成部)	
	旧地形線	
	地質境界線	
	断層	
	試掘坑	
	水抜き坑	

ボーリング

(①ボーリング)      (②, ③ボーリング)

孔名

H25-1      (6-E)

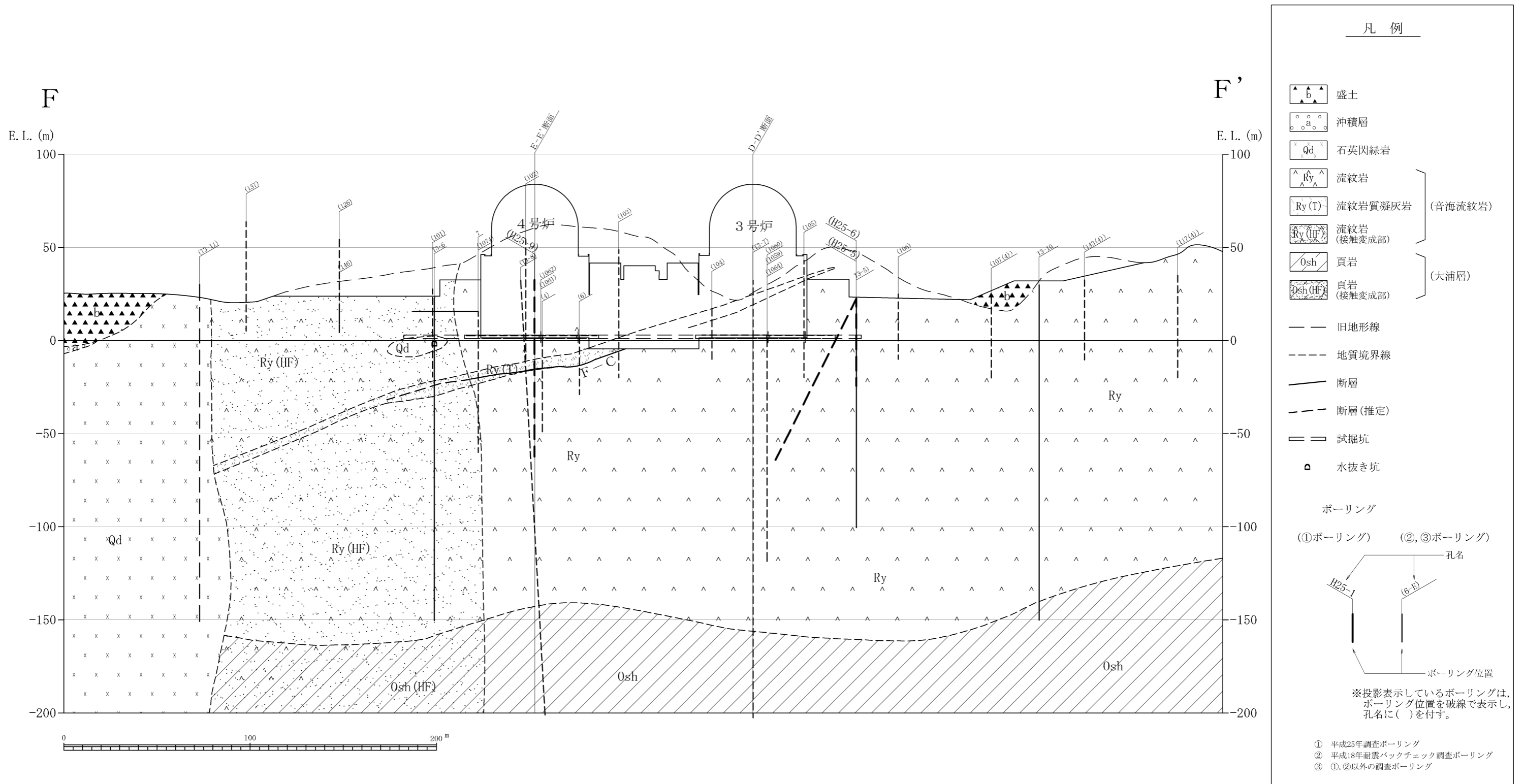
ボーリング位置

※投影表示しているボーリングは、ボーリング位置を破線で表示し、孔名に( )を付す。

① 平成25年調査ボーリング  
 ② 平成18年耐震バックチェック調査ボーリング  
 ③ ①, ②以外の調査ボーリング

※断面図作成位置は第1.2.3.3.3図に示す。

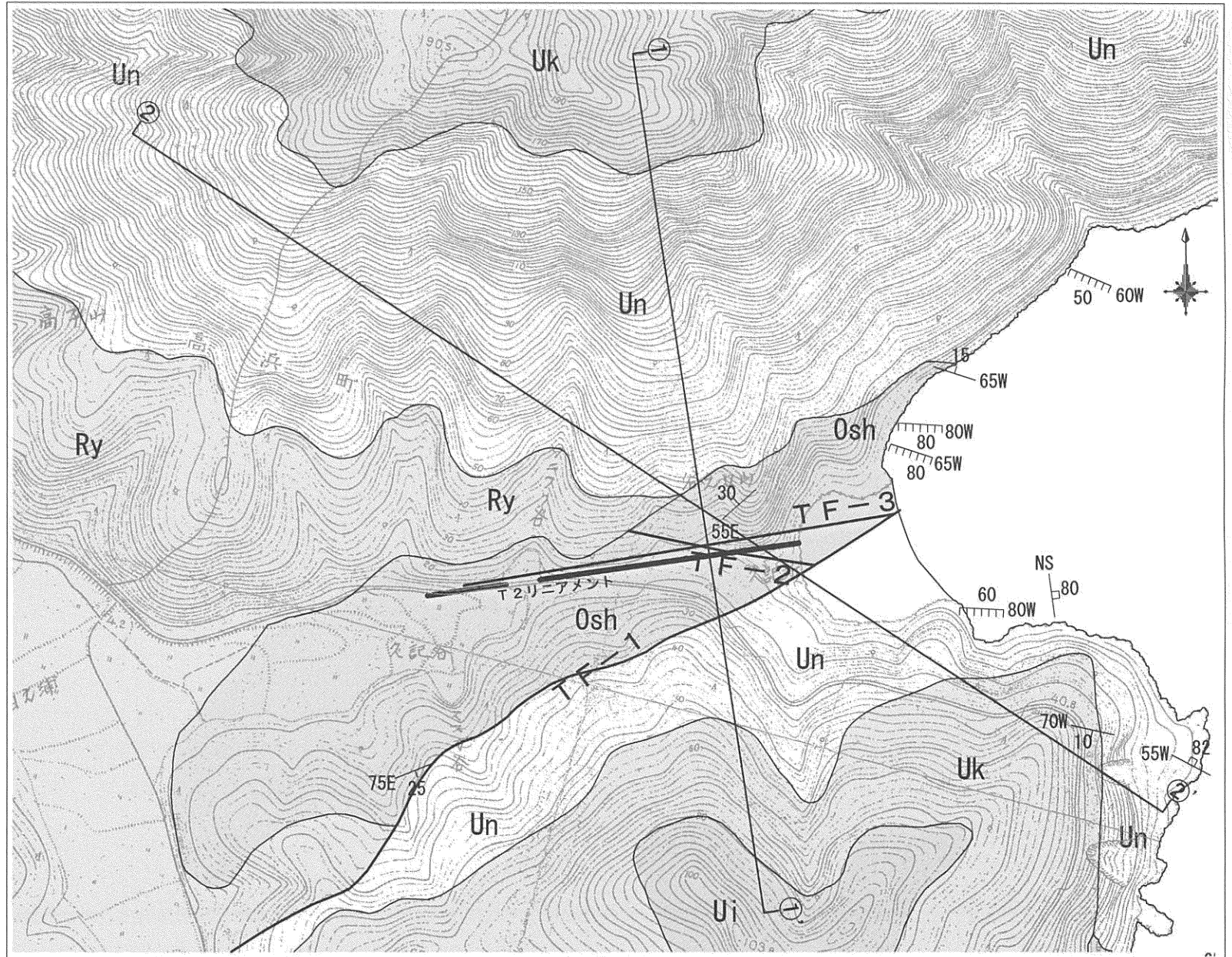
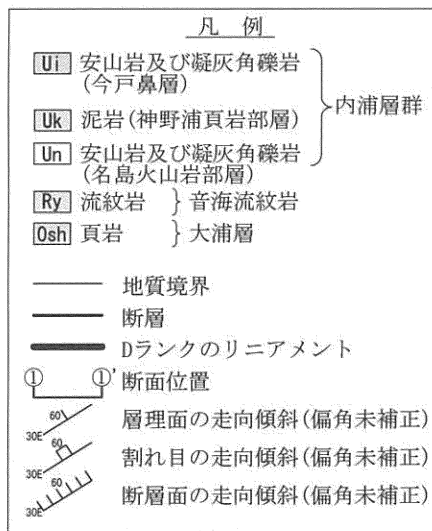
第1.2.3.3.4図(5) 地質鉛直断面図 (E-E' 断面図)



※断面図作成位置は第1.2.3.3.3図に示す。

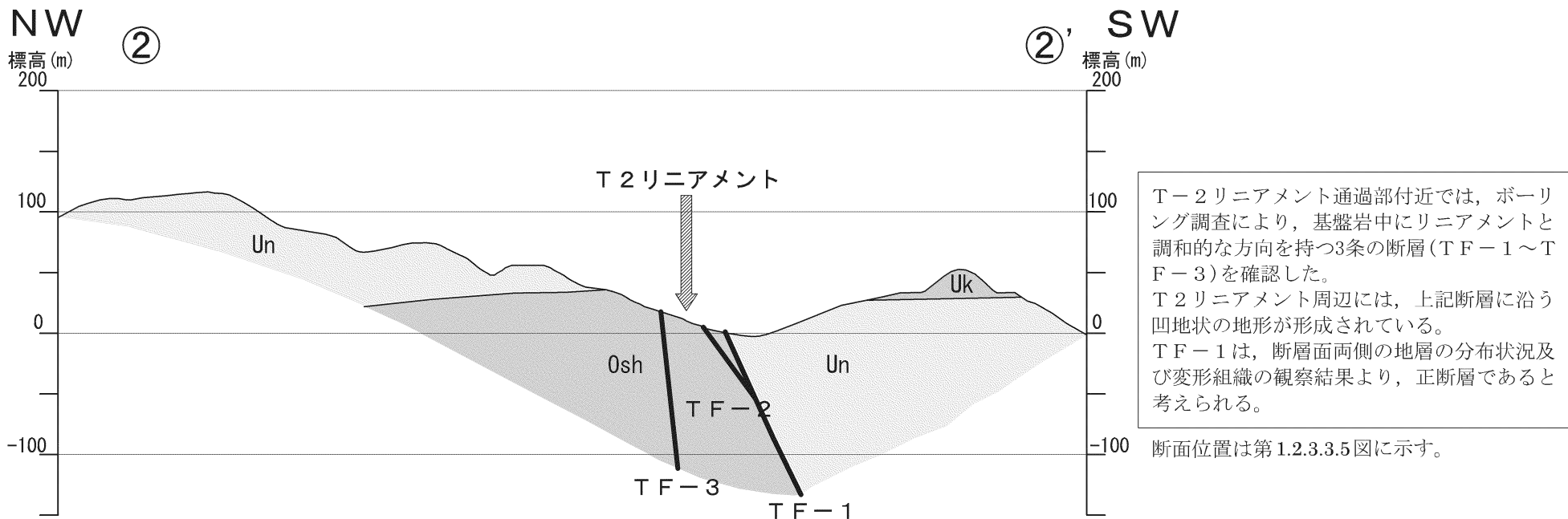
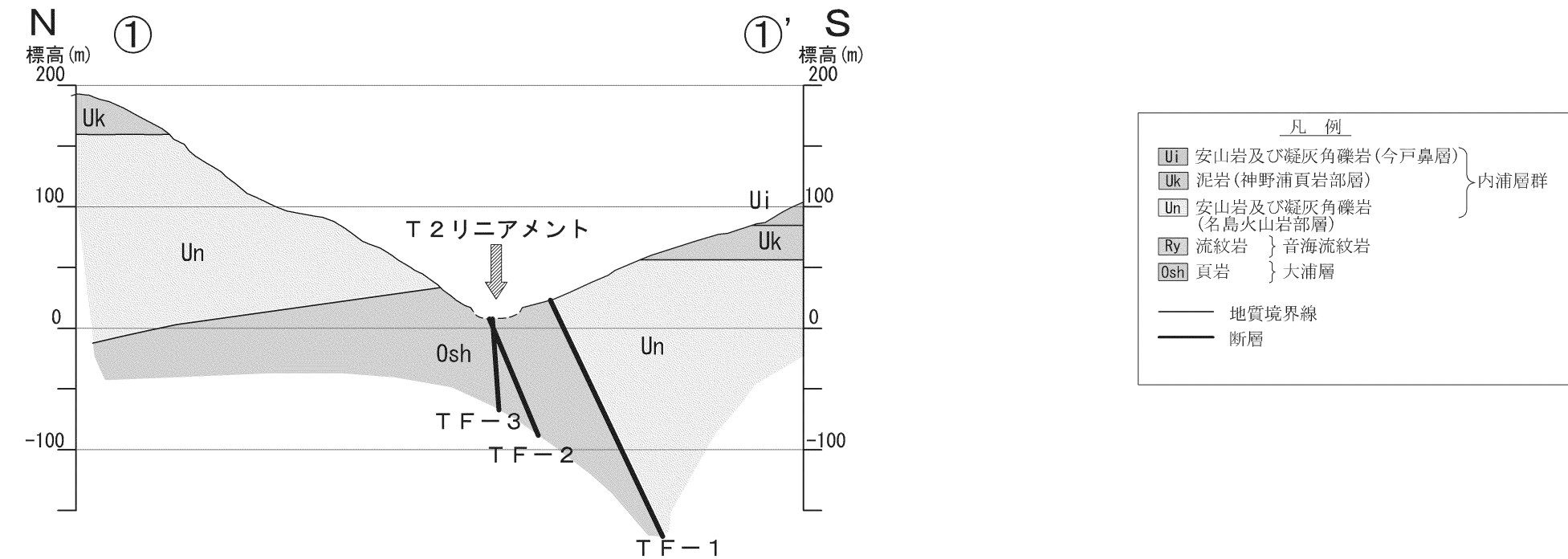
第1.2.3.3.4図(6) 地質鉛直断面図 (F - F' 断面図)



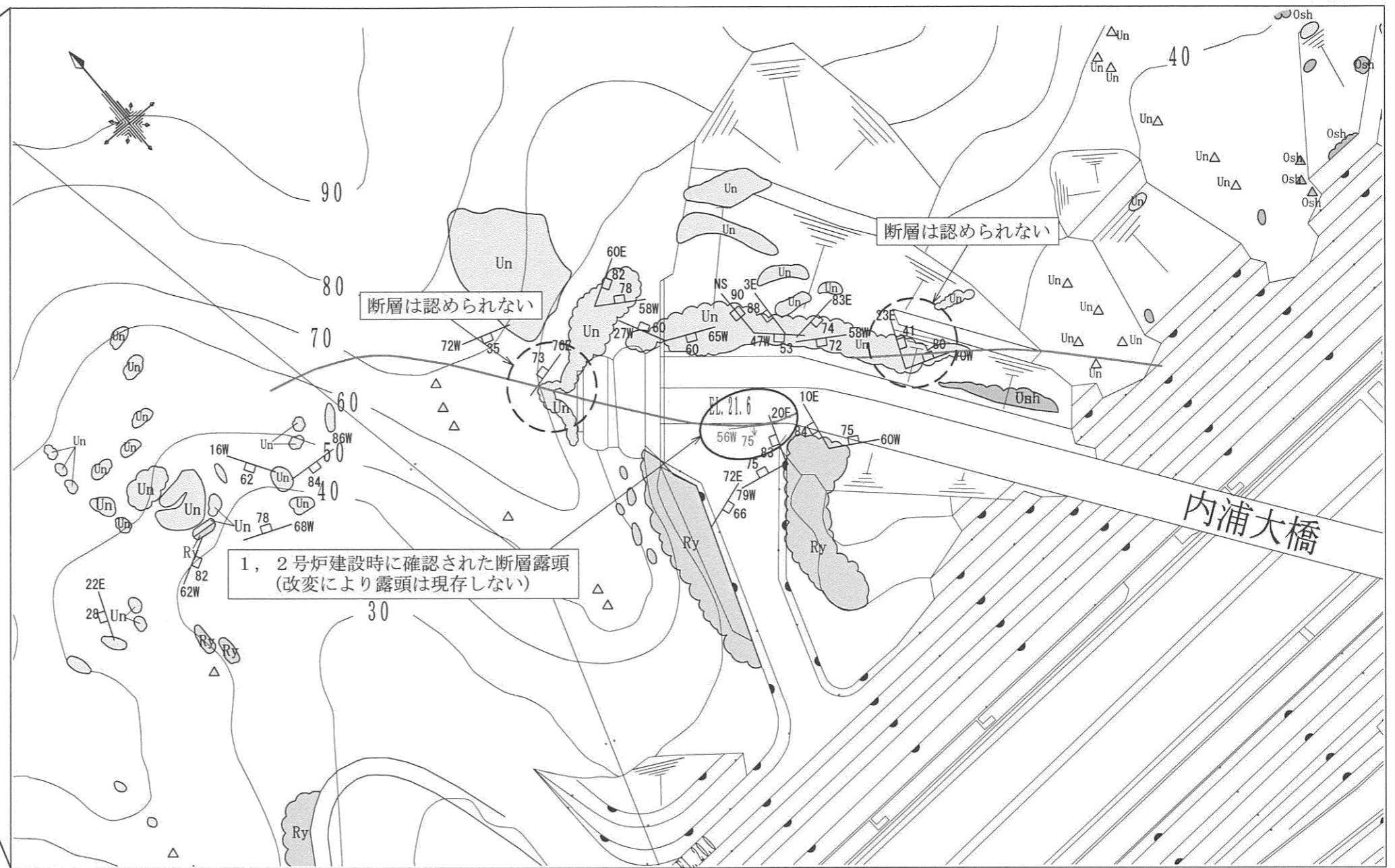
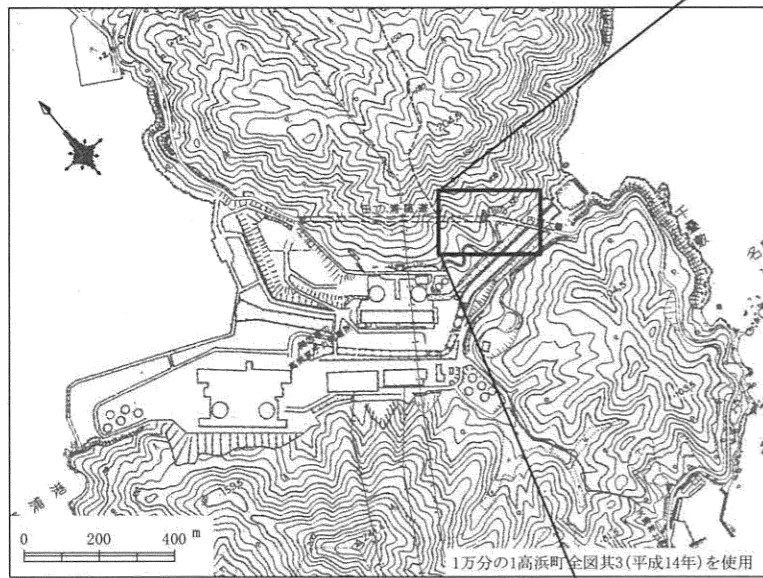


※この地形図は昭和43年度第三次地形地質調査工事に於いて作成した地形図を使用  
 ※T2リニアメントを転記して表示

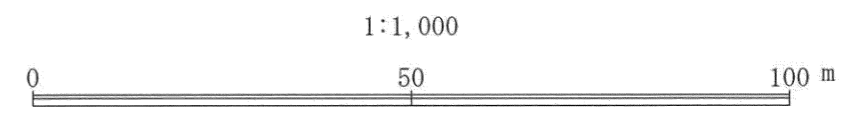
第1.2.3.3.5図 T2リニアメント周辺の基盤岩分布図



第1.2.3.3.6図 T 2 リニアメント周辺の基盤岩地質断面図



- ・建設時の設置許可申請書では、「内浦層群中には断層、破碎帯は極めて少なく、県道トンネル入口で破碎帯の幅が10cm程度の小規模な断層が確認されたのみである。」と記載されている。
- ・北側延長上のトンネル坑口上方斜面及び南側延長上の県道の擁壁上方に分布する内浦層群名島火山部層の連続露頭に断層は認められない。
- ・建設時の設置許可申請書に記載された断層に相当する変動地形は認められない。



凡 例

	1, 2号炉建設時に確認された断層露頭(音海流紋岩)
	露頭(内浦層群名島火山部層)
	露頭(大浦層頁岩)
	転石(内浦層群名島火山部層)
	転石(大浦層頁岩)
	節理面の走向傾斜
	1, 2号炉建設時に確認された断層露頭位置及び、断層面の走向傾斜

第1.2.3.3.7図 田ノ浦トンネル東側坑口付近ルートマップ